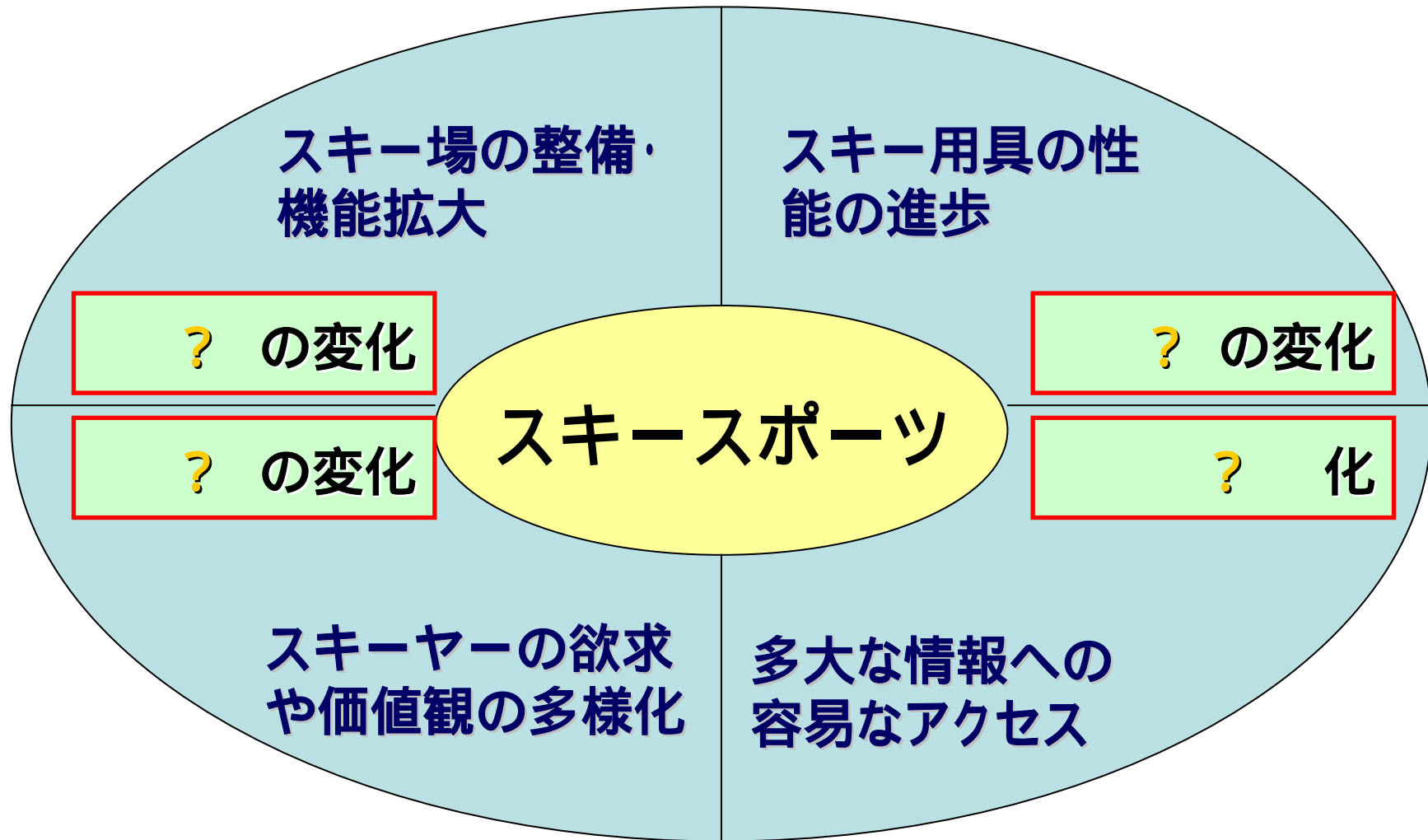


# スキーの特性に応じた基礎理論

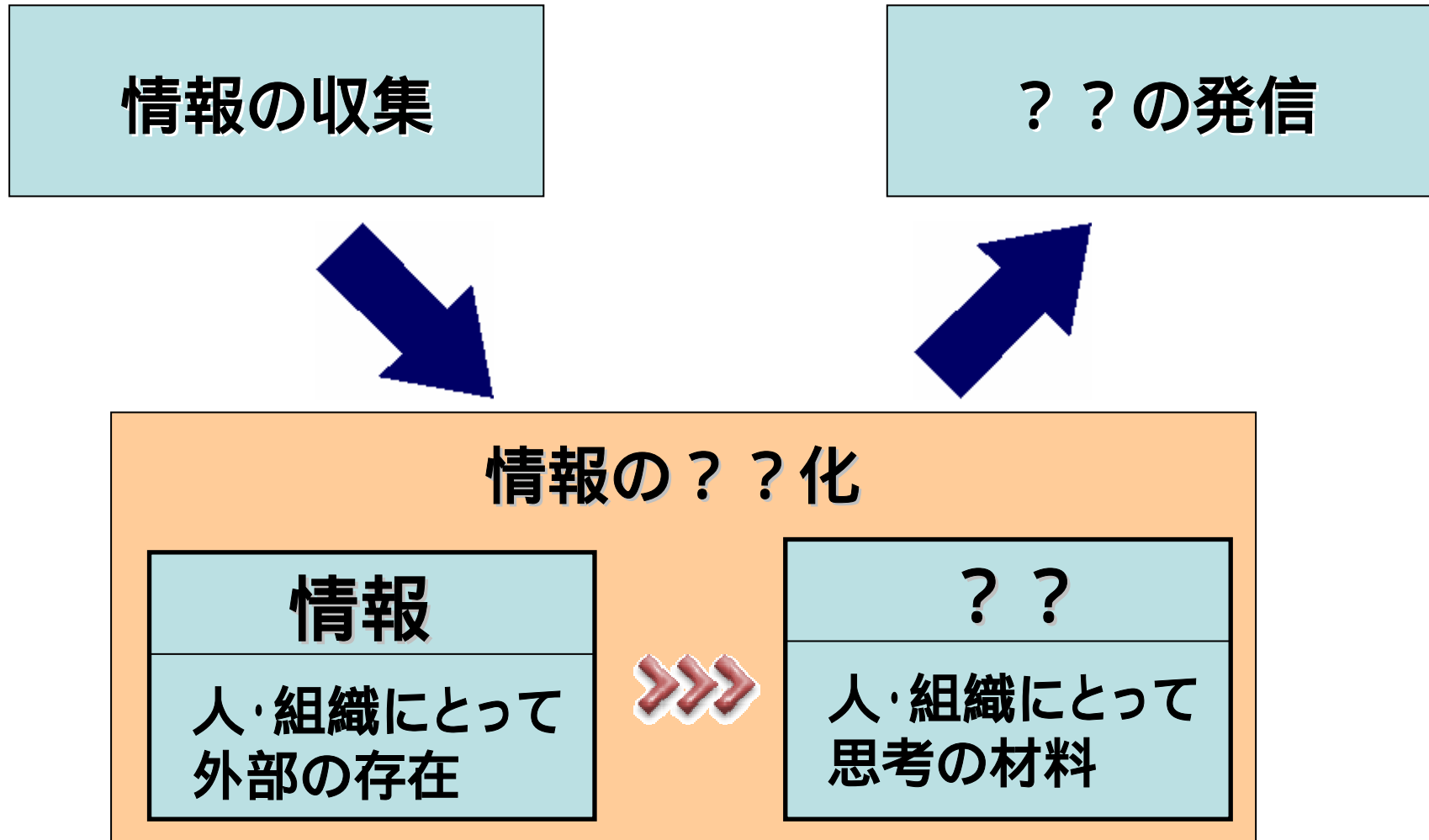
(第4回 まとめ)

築 瀬 歩 (愛知産業大学)

# スキースポーツをとりまく環境 ～ 何がどう変化したのか？ ～



# 環境を受け入れるだけでなく、 環境に働きかけるスキー指導者



# スキーの楽しさとは？

## 中核的楽しさ

欲求 自然条件への挑戦

欲求 フォームへの挑戦

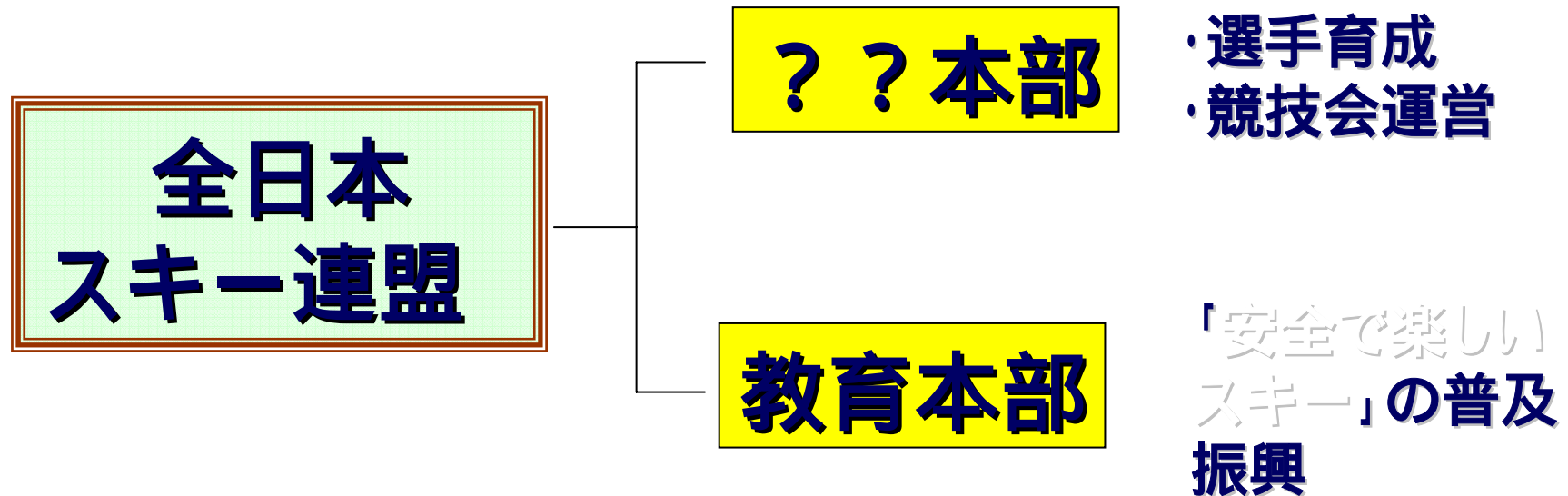
欲求 勝敗を競う

周辺の楽しさ

・ づくりの楽しさ

# 全日本スキー連盟について

- \_\_\_\_\_ 法人、 \_\_\_\_\_ 省の認可団体
- Ski Association of Japan



# 教育本部の活動

スキーへの興味・関心を喚起する

教育本部

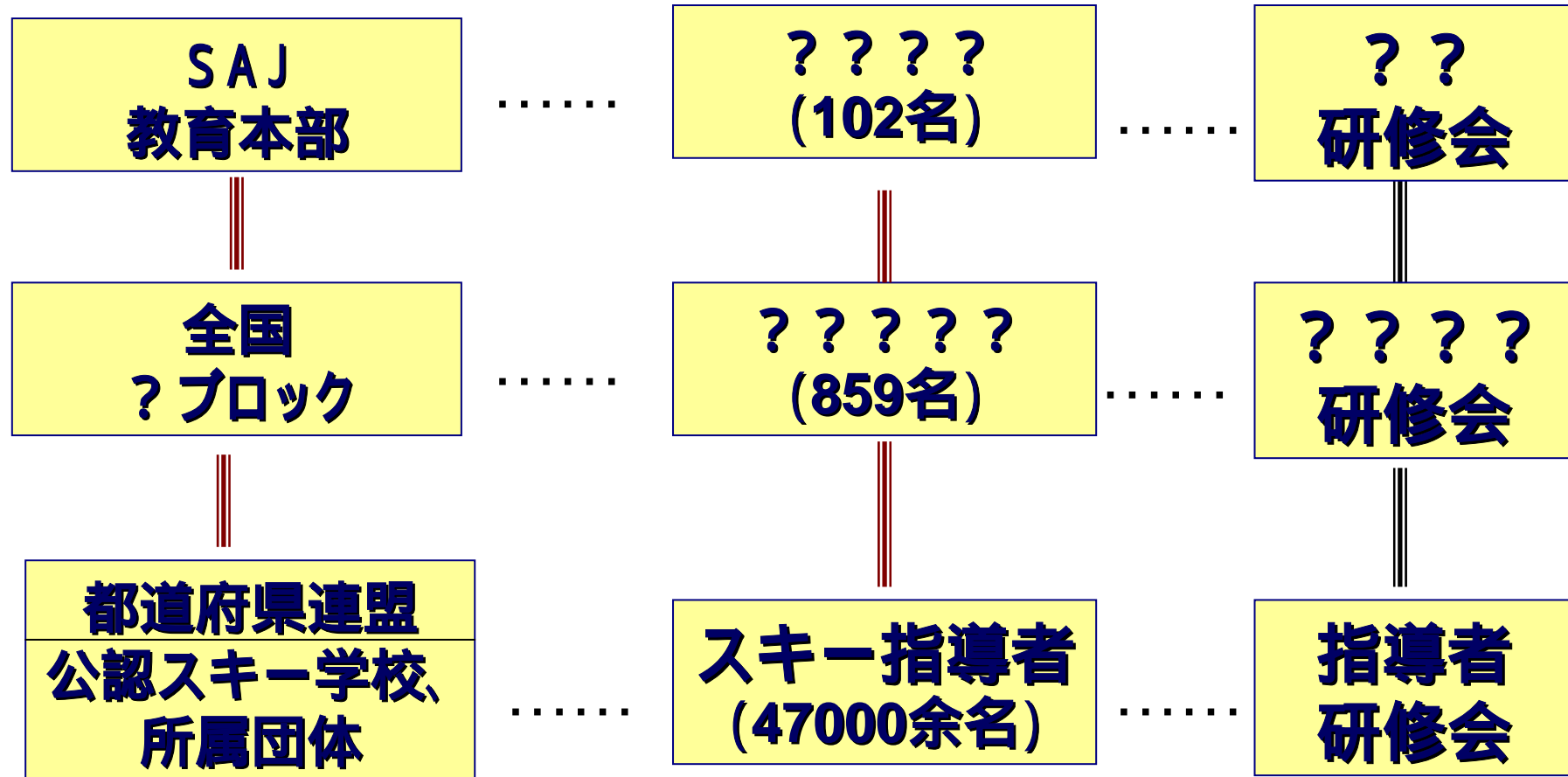
「                      の日」

講習会・講演会

大会

発信

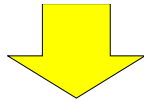
# 教育本部の指導体制



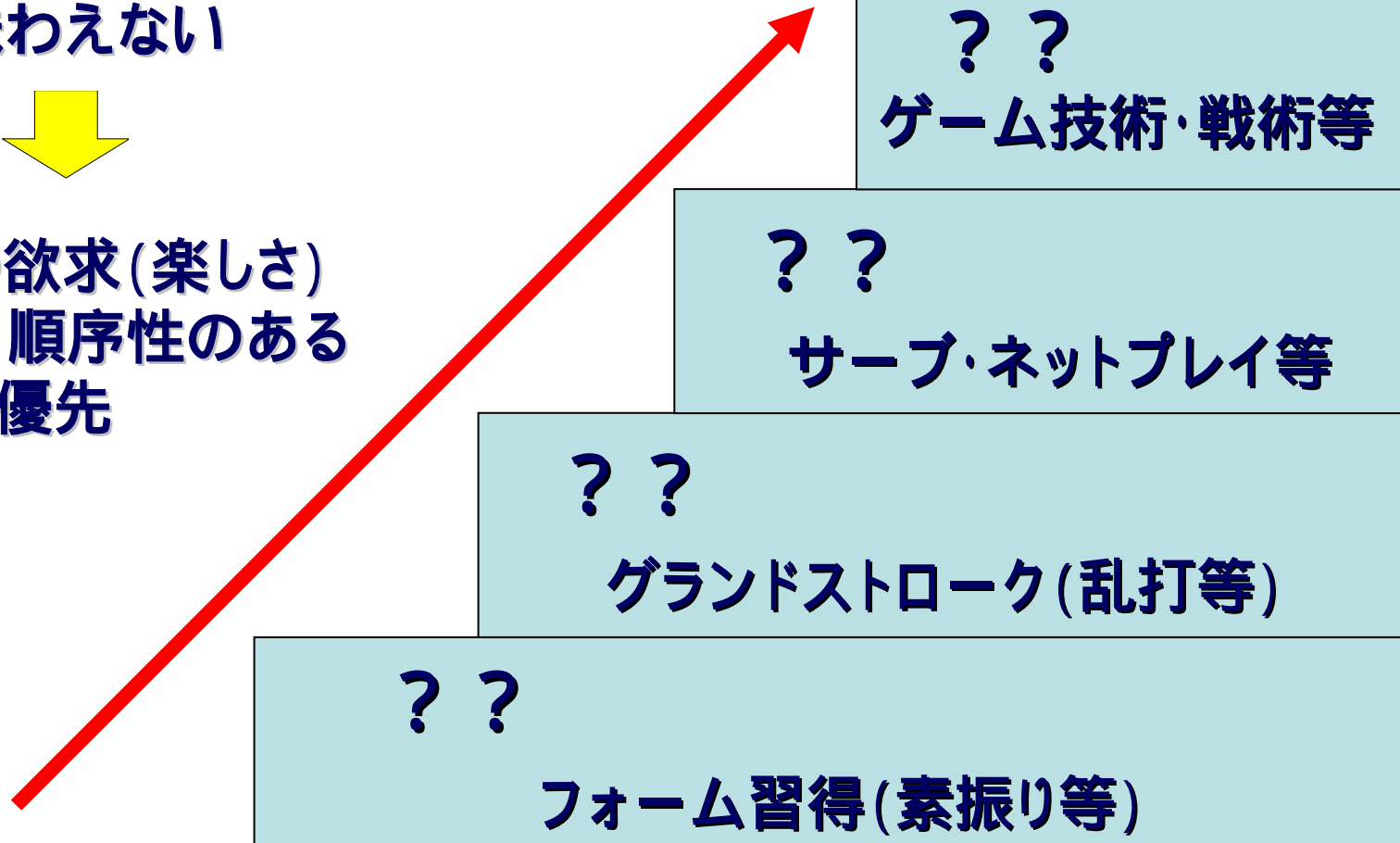
# 伝統的技術指導(??方式)

<前提>

技術がなければ、楽しさを味わえない



個々の欲求(楽しさ)よりも、順序性のある技術を優先





# 学習と学習指導

スキーの「**学習**」とは、学習者としてのスキーヤーと、教材・学習内容としての「」とを結びつける活動である。

したがって、**学習の主体**は(  )であり、その活動を間接的に支援するのが(  )である。

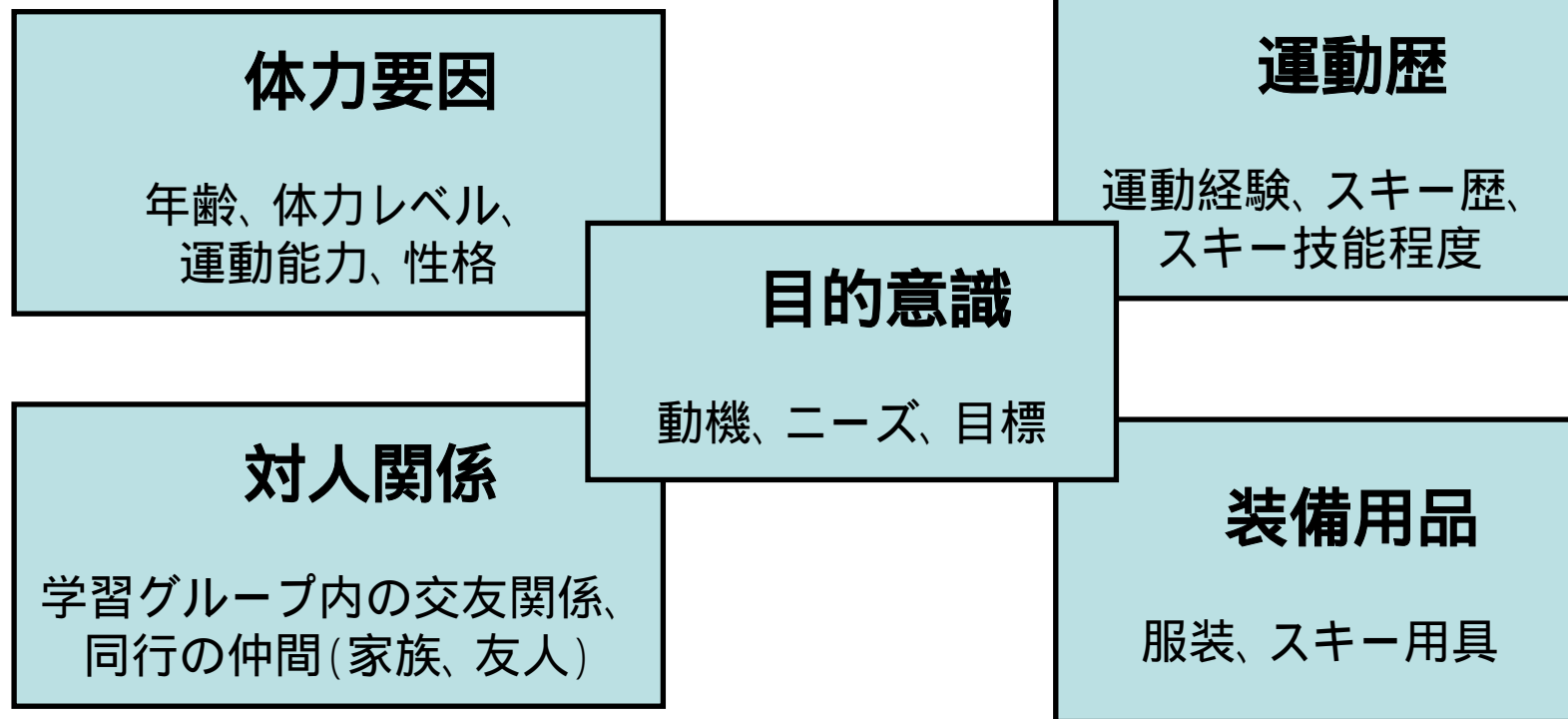
**スキーの学習指導**において、大切なことは技術の段階ではなく、技術の(  )性である。すなわち、ひとつひとつの技術を完成させてから次の段階へすすむ階段方式よりも、全体から部分への働きかけで、順序性にこだわらない(  )方式が求められる。

# 「どの様な人に指導するのか？」

1) 学習者一人ひとりの個性を把握する

主体的学習は、学習者の理解から！

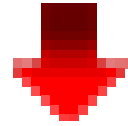
学習者の理解 個性豊かな学習の具体化



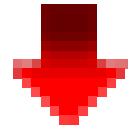
# 「どのような能力を育てるのか？」

## 2) 学習目標・課題を明確に設定する

学習の「見通し」を持てることによってやる気が起きる。



「何を」「どのように」学習するのかを自分で考えることができる。(学習目標と内容の理解)



学習者の実態に即して、適切な目標・課題を設定し、指導者の意図する目標・課題を学習主体である学習者に移行する。

# 「何を教えるのか？」

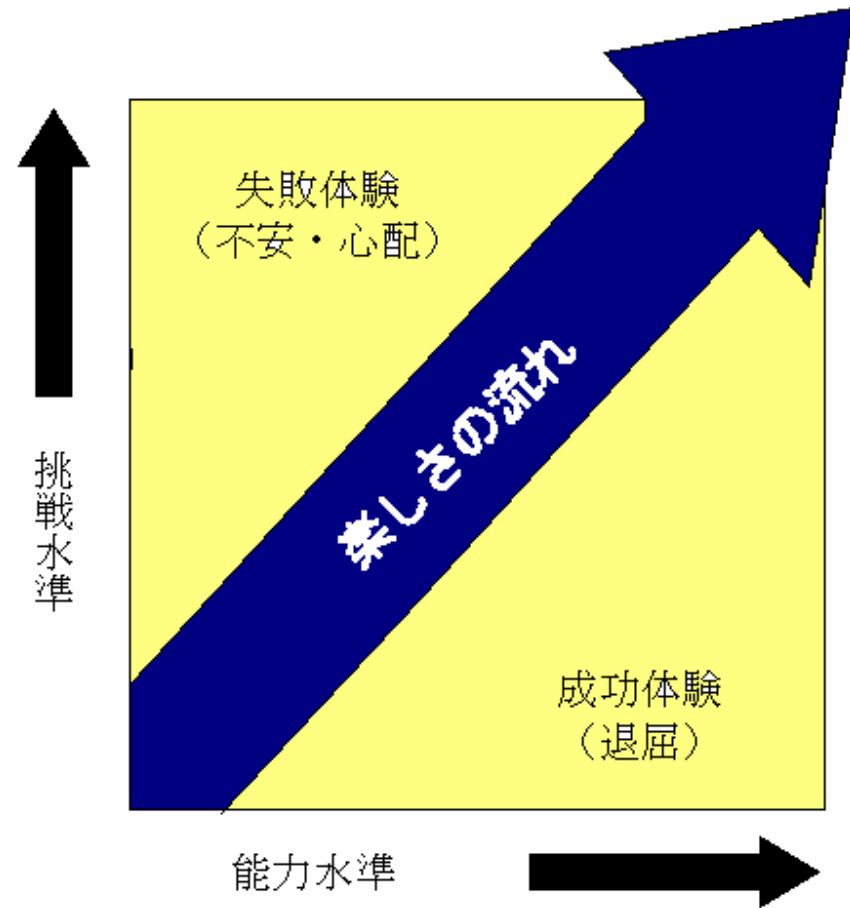
## 3) 学習内容を適切に選択・設定する

学習者が学習活動に「**熱中し**」、「**楽しく**」、「**活発に**」取り組むことのできる学習内容が必要！

しかも、**伸ばそうとする技術を明確に含み、意図的に学習成果があげられるような課題**学習として選択・設定しなければならない。

# (1) 興味・関心を配慮し、能力開発の段階に応じた課題と内容を設定する

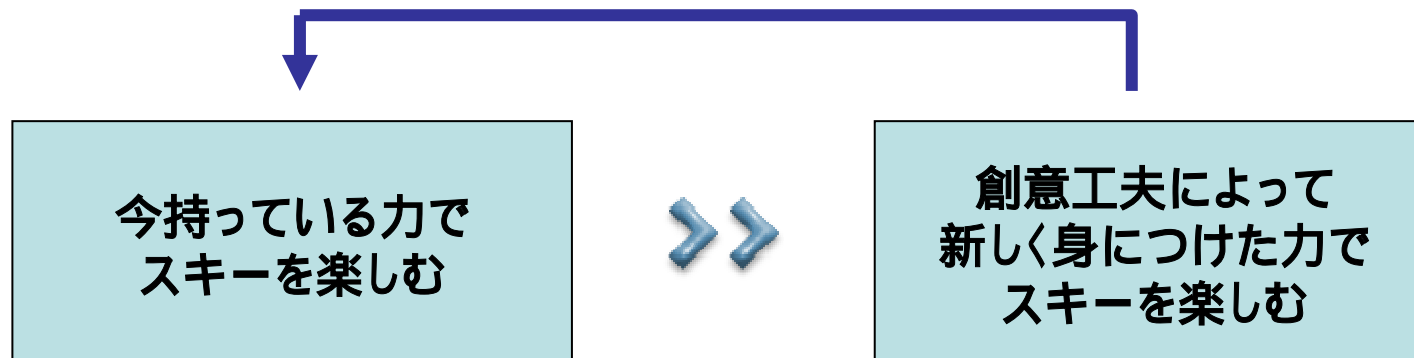
大きな困難や失敗が少なく、成功する場面の割合が高い。  
具体的でわかりやすい。  
すべての学習者に技能習熟の達成や成功感の機会を保障する。



(2) 取り組む対象が挑戦的でプレイ性にみちた課題である。  
(楽しさを発展させる学習過程)

× 技術課題を完成させないと次の課題へ進めない

必ずしも課題が完成していなくても、挑戦できる  
新しい課題への挑戦、前の学習への後退、いずれ  
も可能な学習過程 = スパイラル型学習過程

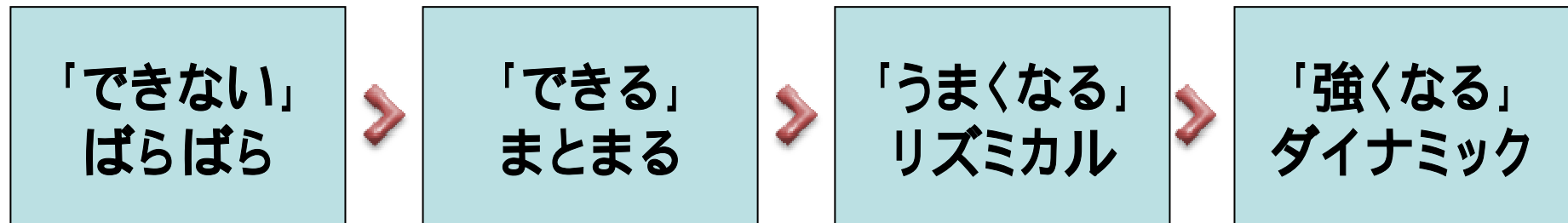


# 「何を」「どのように」「どんな順序で」

## 4) 有効な学習指導過程を設定する

学習者の技能レベルに即して、総合的な観点から指導過程を組み立てることが重要

**技術に対する深い知識・分析能力が必要**



全体を行って調子を覚える  
部分は主として全体の中で

部分を取り出して  
練習し、それを全  
体に変える

全体練習・部分練習をやりながら、  
基礎的体力補強のトレーニングを  
行う

## 5) 学習形態を計画する

### (1) グループを構成する人数

安全性、効率性から考慮した適正人数

**7 ~ 10名 / グループ**

### (2) グループ編成

**技能別グループ編成は前提条件。**

**学習者の志向に配慮した編成も必要。**

**克服・達成・競争など……**



## 6) 評価方法の計画と資料の収集を行う

評価は、指導内容・方法を見直し、改善するために行う。

客観的な評価ができるような評価方法、およびそのための資料を整備しておく。

# スキー指導の計画 (P.123)

## 1. 指導計画の必要性

高い学習成果の獲得、学習・指導方法の改善、適切な評価のために指導計画を立案。

## 2. 指導計画にあたって

長期的な見通しの中で計画を立案。

長期計画 個別計画へ